

- ・特になし（13件）
- ・妻が専業主婦で面倒を見てくれるから（5件）
- ・取得を考えなかった（4件）
- ・二人で長期間休む必要はないと感じたので（4件）
- ・特に必要ないと配偶者に言われたから
- ・それほど忙しい職場ではないから取る必要がない
- ・妻も繁忙期を知っており、仕事に行っていていいと言われたから

○制度が取得できなかった、制度の対象外など

- ・制度がない（3件）
- ・取得できなかったから（3件）
- ・アルバイトだったので（2件）（注：育児・介護休業法に基づく育児休業は一定の要件を満たした期間雇用者も対象となる）
- ・パートなので休業がなかったため（2件）（注：同上）

○制度を知らなかったため

- ・制度があることを知らなかったから（5件）
- ・制度を理解していなかったから（3件）
- ・制度を取得できることを知らなかったから（2件）
- ・会社にも何も言われず、知らなかった
- ・私も含め、直接の上長も制度を知らないし、理解もしていない

○会社・職場の理解のなさ、運用上の問題など

- ・育児休業は雰囲気的に難しい（3件）
- ・職場で休むなというような発言をする職員がいたため
- ・一回申請すると強制的に長期休職になってしまう
- ・社長に何を言われるかわからない
- ・取っている人を社内で見ることがないので
- ・どんな時にでも休まないのが暗黙の了解だから
- ・取る気はなかったし、会社もそのような考えはないと思う
- ・無理やり休んだ（辞めさせられてもよいと思って欠勤した）
- ・上司に相談したが却下されたため（2件）
- ・制度はあるが、取得するなと言われた
- ・育児休業制度があったにもかかわらず、職場の上司が対応しなかった
- ・申し出たが断られた

○有給休暇等で対応したため

- ・有給休暇で対応（4件）
- ・他の休職制度で十分だった（3件）
- ・年次有給休暇で十分だから（2件）
- ・育児休暇よりも有給休暇の方が取りやすく収入も良かったから
- ・育児休暇を取得しなくても、必要な時に有給休暇を取得できたから
- ・私が育児休暇を取れる事を知らず有給休暇をとった。会社からは何の説明もなし

○代替の人がいないため

- ・私しかできない仕事があったため（2件）
- ・立場（役職）上、長期休暇は現実的に不可能（2件）
- ・小さい会社のため人がいない（2件）
- ・専任（他者にはできない）業務があるため、長期取得は断念
- ・個人事業だから
- ・交代要員がいないから
- ・代替の人材がいない
- ・人が少ないから

- ・社員が自分しかいないため

○家族経営の会社のため

- ・家族経営の会社だから（4件）
- ・家族経営の小さい会社なので、休業すると配偶者に負担がかかるから
- ・代表者が親族だったので特に取らなかった

○出産が休日・祝日等のため

- ・ちょうど休みの日に出産だったため（週末、GW、盆休み、年末年始）（10件）
- ・夜間の出産だったから

○退職・転職のため

- ・退職したから（2件）
- ・転職したから（2件）
- ・引越しすることがわかっていてから（2件）
- ・体調に問題があり、元々辞めるつもりだった
- ・元々自分にあった仕事ではなかったため辞めた
- ・妊娠したら退職するつもりでいたから
- ・退職していたから
- ・たった数週間で復帰したくなかったので退職した
- ・育児に専念したかったから
- ・復帰後の就業時間が希望と合わなかった

○在宅勤務など融通が利いたため

- ・在宅勤務などの制度を利用したから（4件）
- ・融通がきいたから（3件）
- ・夫の事務所なので融通がきいたから
- ・自宅がオフィスだから必要ない
- ・自宅で仕事が可能なため

○その他

- ・定員が少ないため4月入園で入りたかった
- ・夫婦で育児休暇を取ると保育園の入園が不利になる
- ・長子のときに育児休業を取得したが、時短勤務でも対応できそうだったから
- ・他に子どもがいたため働かないといけない状況
- ・手続きが面倒
- ・仕事を休む＝失職
- ・配偶者の転勤が伴ったため
- ・配偶者の母の協力があつたため
- ・嫁の母親が近所に住んでいるのと、専業主婦なので申し訳ないと思いつつも、上の子の面倒を見てもらった
- ・取得しなくても良い環境を作ったから
- ・わからない